

NEWS RELEASE



2025年5月9日

株式会社みずほフィナンシャルグループ

アジア太平洋地域における持続可能な航空燃料の需要拡大に取り組む 「Green Fuel Forward」に加盟

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕）は、シンガポール政府系ファンド Temasek が所有する脱炭素に特化した投資プラットフォームである GenZero（※1）と世界経済フォーラムが立ち上げた、アジア太平洋地域における持続可能な航空燃料（Sustainable Aviation Fuel、以下「SAF」）の需要拡大を目的としたイニシアチブ「Green Fuel Forward（以下、「GFF」）」に立ち上げメンバーとして日本企業で唯一参画しました。



（GFF 立ち上げイベントでの集合写真。左から 6 番目がみずほフィナンシャルグループ武藤副 CSu0）

航空業界では、国際民間航空機関（ICAO）が国際航空輸送分野におけるCO2排出量抑制を進めています。SAFはICAOにおいて当面の最も削減効果の高い対応策として位置付けられるなど、グローバルでニーズが高まっています。また、アジア太平洋地域は他地域に比べ航空需要の伸びが大きく、同時にSAFの原料も豊富で供給ポテンシャルも大きいことから、SAF活用の重要性が高い地域です。

〈みずほ〉は、サーキュラーエコノミーをサステナブルビジネスにおける注力領域の一つに据えており、サーキュラーエコノミー産業を創り出す“オーガナイザー”となることを目指し、SAFの領域におけるサプライチェーンの構築に関与していくことを掲げています。これまで、日本の国産SAFの商用化および普及・拡大に取り組む有志団体「ACT FOR SKY」（※2）に金融機関として最初に参加し、成田空港においてSAFの環境価値を取引するスキームを構築し航空輸送のバリューチェーン全体でSAFにかかるコストをシェアする実証試験に取り組むなど、SAFやそのサプライチェーン・バリューチェーン構築に向けた支援を行ってきました。

〈みずほ〉は、今後本イニシアチブへの参画を通じて、アジア太平洋地域でのSAFの需要拡大に向けたスキーム作りに積極的に貢献するとともに、SAFのサプライチェーン・バリューチェーン構築に向けた業界横断連携や、SAF関連のプロジェクトへの資金供給により、お客さまの脱炭素化の実現に貢献していきます。

※1【GenZero の概要】

GenZero は、世界規模での脱炭素化を加速することに焦点を当てた投資プラットフォーム企業です。Temasek によって設立され、インパクトのある拡張可能なソリューションへと育成できる可能性を持つ機会に投資することで、長期的に持続可能な財務リターンと共に、気候変動へのプラスの影響を実現することを目指しています。

GenZero の詳細については、<https://www.genzero.co> をご覧ください。

※2【ACT FOR SKY の概要】

SAF の国内でのサプライチェーン構築と普及を通じて、カーボンニュートラルな空の実現を目指すオールジャパンの取り組みです。国産 SAF に直接関与する企業、サプライチェーン構築に必要な企業や自治体はその枠を超えて行動するムーブメントを創出し、国産 SAF の商用化と普及・拡大を実現することを目指しています。

以 上